

# 漁海況情報

第448号 (平成21年10月16日)

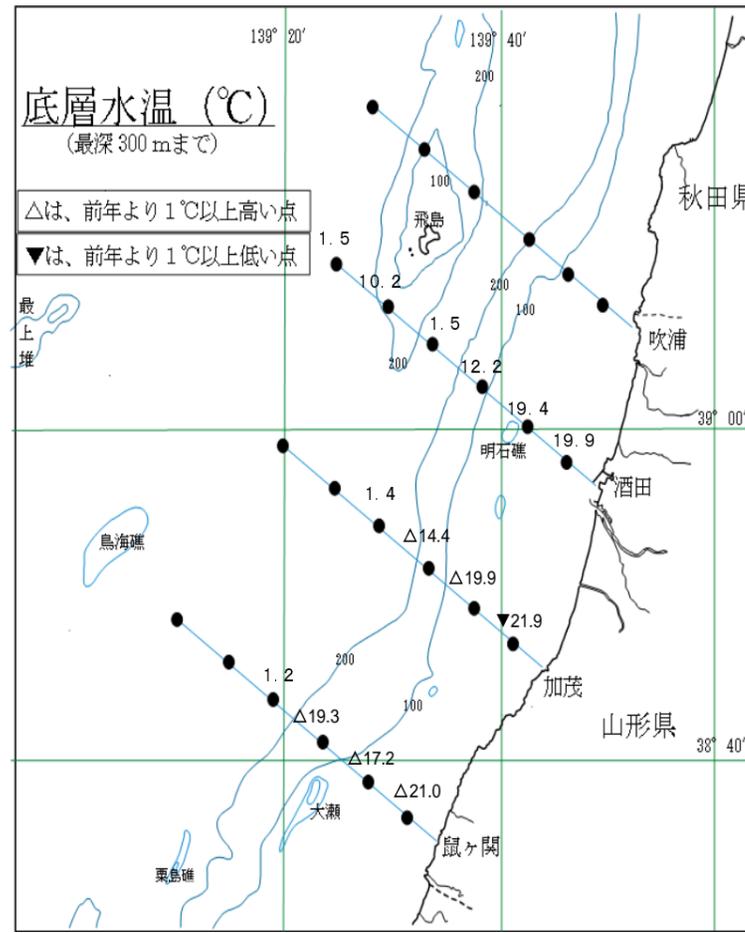
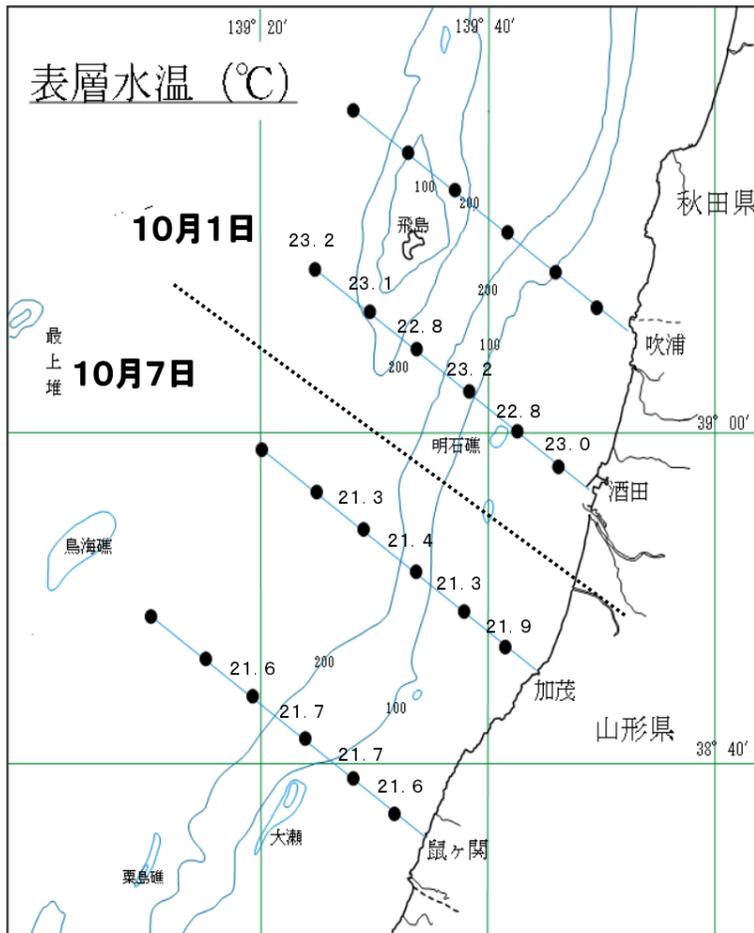
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
 ホームページ: //www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

漁業監視調査船「月峯」と漁業調査船「最上丸」は10月1、7日に、本県沿岸の定点観測を行いました。表層から300m層までのすべての層で平年並みの水温になっています。

- ・表層: 水温は21~23℃台で、平均水温は22.2℃でした。平年と比べ0.1℃低く「平年並み」の水温となっています。
- ・50m層: 水温は18~21℃台で、平均水温は19.7℃でした。平年と比べ0.2℃高く「平年並み」の水温となっています。
- ・100m層: 水温は13~15℃台で、平均水温は14.4℃でした。平年と比べ0.8℃高く「平年並み」の水温となっています。
- ・200m層: 水温は4~5℃台で、平均水温は5.1℃でした。平年と比べ0.2℃高く「平年並み」の水温となっています。
- ・300m層: 水温は1℃台で、平均水温は1.4℃でした。平年と等しく「平年並み」の水温となっています。
- ・底層: 県南部で前年と比べて高めの水温になっています。なお、酒田線は前年が欠測のため比較できません。
- ・地先水温: 水産試験場、栽培漁業センターとも平年よりかなり低めの水温になっています。

地先水温 [9月の平均値]

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	22.6	-2.2	-1.5	かなり低い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬)	23.2	-1.5	-1.5	かなり低い



沿岸水温は、表層から300m層までのすべての層で平年並みです。

各層別の平均水温

単位:℃

	表層	50m層	100m層	200m層	300m層	底層
本年	22.2	19.7	14.4	5.1	1.4	10.7
前年差	+0.5	+1.7	+1.8	-0.3	-0.4	
平年差	-0.1	+0.2	+0.8	+0.2	±0.0	
評価	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	
(前月評価)	(やや低い)	(平年並み)	(平年並み)	(やや低い)	(平年並み)	

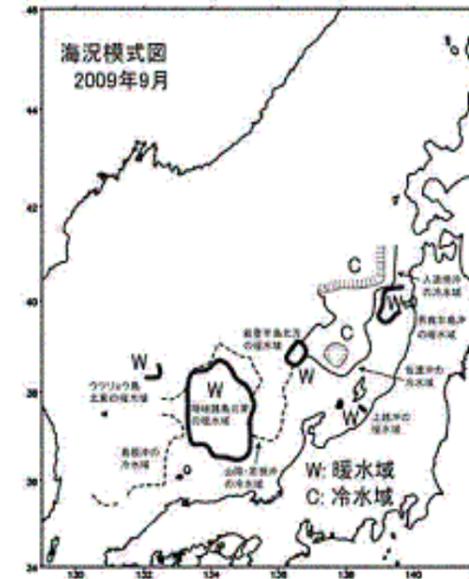
\* 水温の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年に1回の出現確率を表しています。

## 平成21年度第3回日本海海況予報

(平成21年10月2日 水産庁公表)

今後の見通し(2009年10月~12月)は以下のとおりです。

- ①対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”(±0.5℃程度)で経過する。
- ②対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み~やや低め”(−1℃程度)で経過する。



### 2009年10月~12月の海況

- 隠岐諸島北東の暖水域は、強い勢力を保ったままほぼ停滞する。
- 能登半島北方の暖水域は、佐渡北西に移動する。
- 上越沖の暖水域は、消滅する。
- 男鹿半島沖の暖水域は、ほぼ停滞するが、弱体化する。
- 鳥根沖、山陰・若狭沖、佐渡島沖、入道埼沖の各冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。

# 9月の漁況

## 概況

- ・延べ操業隻数は、3,307隻で前年比112%でした。
- ・総漁獲量は、873トンで前年比113%、前年比79%でした。前年を下回ったのは底びき網漁業のホッケと船凍いか釣漁業の水揚げが減少したためです。
- ・9月に解禁された底びき網漁業の漁獲量は274トンで、前年比90%でした。ホッケ、アカエビが前年を上回りましたが、タイ類、ヒラメ、ハタハタ、スケトウダラは下回りました。
- ・さし網漁業の漁獲量は16トンで前年比138%でした。飛島地区を中心にメバル・テンコが前年を大きく上回りましたが、キス、ワタリガニは下回りました。
- ・その他の漁業では、船凍いか釣漁業(スルメイカ)、定置網漁業(ブリ類、)はえなわ漁業(タイ類、サワラ、マグロ類)、一本釣漁業(サワラ)、採貝藻漁業(サザエ)は前年を上回りましたが、あまだいさし網漁業(アマダイ)、定置網漁業(アジ)は下回りました。

\* 前年比は平成16～20年までの平均値と比較した値です。

## 全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	184	647	598	239	349	364	239	687	3,307	105%	112%
総漁獲量	18,474	20,329	510,338	52,847	44,404	26,761	14,812	184,677	872,642	79%	113%
前年比	30%	103%	70%	138%	94%	90%	198%	116%	79%		
前年比	60%	120%	129%	96%	89%	85%	194%	100%	113%		

## 底びき網漁業

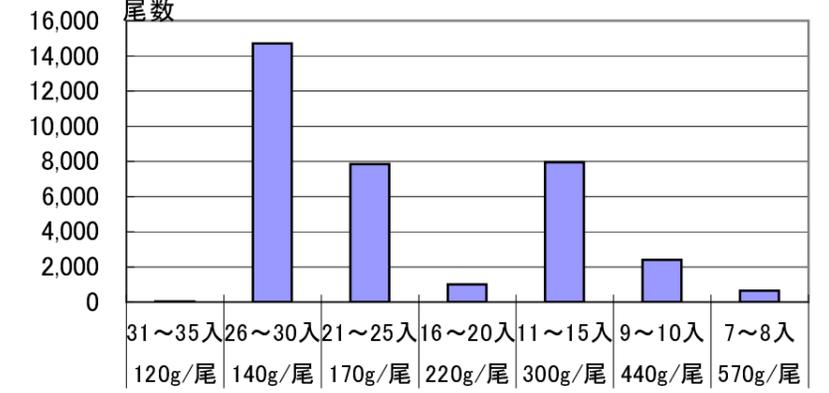
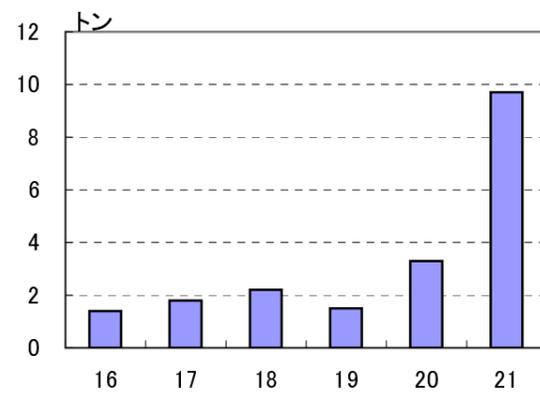
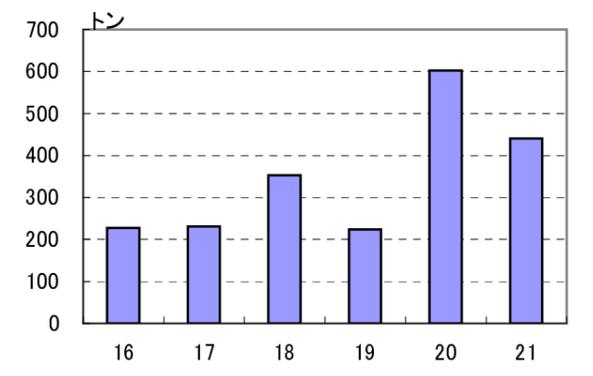
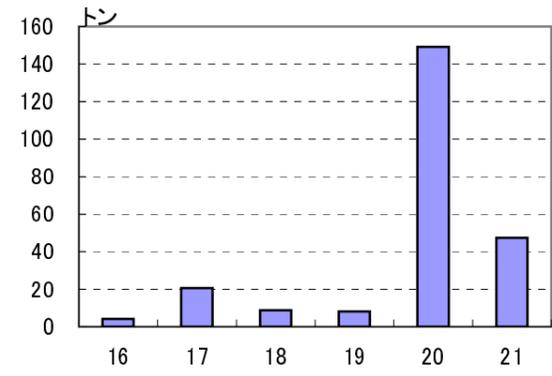
支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	56	124	91	28	226	525	91%	92%
タイ類	184	4,200	172	29	1,649	6,234	146%	56%
ヒラメ	1,028	1,302	1,041	467	172	4,010	59%	60%
口細	687	1,857	2,837	1,320	1,028	7,729	123%	90%
ネサン	2,419	6,307	4,162	976	785	14,649	145%	97%
ハタハタ	76		11	123	1,891	2,101	41%	30%
スケトウダラ	2,708	1,057	974	496	49,797	55,032	75%	59%
ホッケ	655	14,157	1,404	625	30,547	47,388	32%	124%
マダラ	267	359	189	256	25,862	26,933	295%	108%
アカエビ	47	4,212	4	14	27,655	31,932	97%	134%
その他	6,687	18,292	20,222	7,770	24,616	77,587	105%	102%
計	14,758	51,743	31,016	12,076	164,002	273,595	74%	90%
前年比	25%	47%	78%	65%	112%	74%		
前年比	55%	100%	82%	75%	95%	90%		

## その他の漁業

漁業種類名	あまだい さし網漁業	船凍いか釣 漁業	ごち網 漁業	定置網漁業	はえなわ漁業			一本釣漁業		採貝藻 漁業	
延べ操業隻数	84	6	84	56	585			217		835	
対象魚種	アマダイ	スルメイカ	タイ類	ブリ類	アジ	タイ	サワラ	マグロ類	ブリ類	サワラ	サザエ
漁獲量	2.0	440.3	10.4	2.2	1.9	9.0	20.5	2.9	6.7	2.9	21.2
前年比	57%	73%	80%	796%	127%	131%	382%	303%	173%	6659%	148%
前年比	77%	134%	88%	134%	44%	150%	254%	270%	91%	586%	163%

## さし網漁業

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	81	199	150	128	38	77	673	110%	106%
メバル・テンコ		7,818	1,869	3		12	9,702	287%	485%
キス	644		201	19	24	117	1,005	65%	50%
ワタリガニ	325		500	293	158	251	1,527	49%	36%
その他	618	547	1,872	379	193	206	3,815	116%	116%
計	1,587	8,365	4,442	694	375	586	16,049	142%	138%
前年比	78%	241%	107%	92%	89%	111%	142%		
前年比	68%	346%	89%	60%	80%	259%	138%		



飛島地区のさし網漁業でのメバルは、26～30入/4kg(140g/尾)が主体です。平成18年生まれの3才で卓越年級と考えられます。来年にはこの年級群のすべてが漁獲される大きさに成長するの、さらに漁獲が増えることが期待されます。

最上丸の調査予定(10月中旬～11月上旬)

・ 上架整備と海洋観測を行います。



みなさま、調査へのご協力よろしくお願いします。